

あなたと議会を結ぶ

議会広報

令和8年5月28日発行

第186号

あじがさわ

発行…青森県鯉ヶ沢町議会 〒038-2792 青森県鯉ヶ沢町大字舞戸町字鳴戸321番地 編集…議会広報編集委員会 ☎0173-82-0906(直通)

この広報紙は再生紙を使い、議員の自主編集で発行しています。



～ 桜の下で笑顔満開 ～

桜が咲き誇る大高山総合公園で、モルックやディスクゲッター、ペタンクの体験会が行われました。参加者はルールを学びながら軽スポーツに親しみ、春の公園には笑顔と歓声が広がる、和やかなひとときとなりました。

令和8年4月19日

3月
定例会号

新年度の予算・主な取り組み	2～3
第1回定例会	4
一般質問（7人が傍聴）	5～7
予算特別委員会・各常任委員会の審議	8
議会活動	9
特集 はつらつチャレンジャー 温かな就労支援	10

鯉ヶ沢町議会ホームページへアクセス



鯉ヶ沢町議会

検索



詳しくは
こちらから

0歳児から2歳児までの保育料無償化など、暮らしを守り未来を拓く令和8年度予算の主な取り組み

◇小中一貫教育学校設計業務委託料 2億3575万円

舞戸小学校の増改築により『義務教育学校』の開校を目指し、今年度は施設的设计業務に着手します



舞戸小学校のようす

令和8年度の一般会計当初予算は、予算特別委員会の審議を経て、本会議において全会一致で可決されました。
このページでは、新年度の主な取り組みについてお知らせします。
(※表示金額は予算額のため、実際の事業額とは異なる場合があります)

◇(仮称)歴史文化財センター管理費 507万円

旧鱒ヶ沢こども園を改修して『(仮称)歴史文化財センター』を整備。歴史資料などの適切な保存・管理をします



(仮称)歴史文化財センターのようす

◇保育所等保育料無償化事業補助金 460万円

0歳児から2歳児までの保育料を無償化。これにより全ての保育児童の保育料を完全無償化にします



保育園児のようす

◇鱒ヶ沢跨線橋橋梁補修工事 2億円

安全で快適な道路環境、交通確保に向けた、鱒ヶ沢跨線橋の橋梁補修工事をします



鱒ヶ沢跨線橋のようす

◇舞戸公民館エアコン設置工事 2112万円

舞戸公民館大ホールのエアコンを入替。より快適に利用できる環境を整備します



舞戸公民館大ホールのようす

そのほかの主な事業

- ◇大高山風力発電所建設工事発掘調査費 293万円
- ◇中央公民館指定管理料 1100万円
- ◇舞戸公民館指定管理料 850万円
- ◇消防通信指令協議会費分担金 1207万円

◇火葬炉設備入替工事 1億4321万円

鱒ヶ沢町斎場の火葬炉(人体用2炉、砲衣・小動物各1炉)を改修。より安全に利用できる環境を整備します



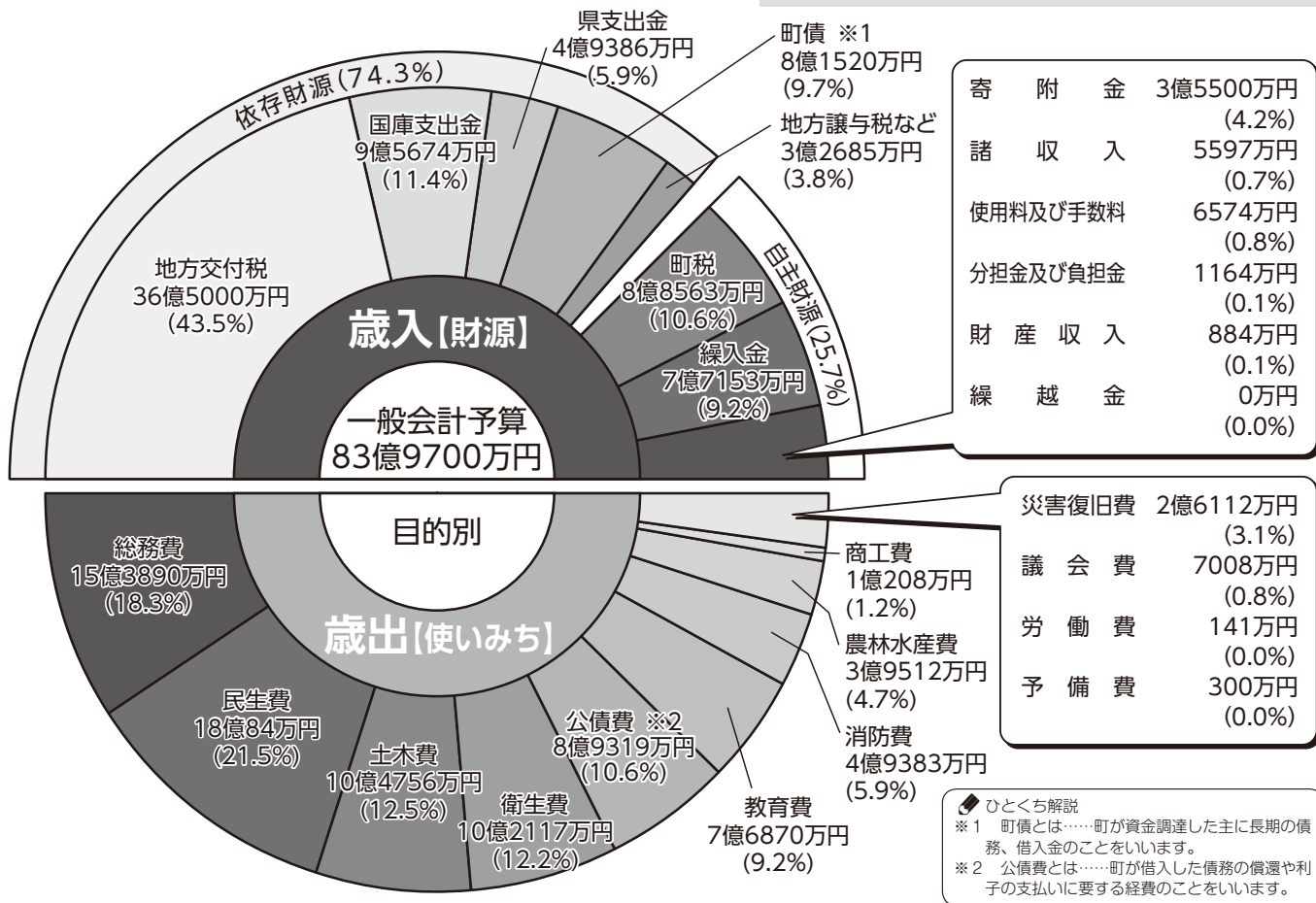
鱒ヶ沢町斎場火葬炉のようす

令和8年度
当初予算

新年度予算可決

一般会計 83億9700万円

【前年度比】4億4400万円増



令和8年度一般・特別・企業会計当初予算

会計名	本年度予算額	前年度予算額	増減	対前年度伸率(%)		
一般会計	83億9700万円	79億5300万円	4億4400万円	5.6	↑	
特別会計	国民健康保険事業	13億746万円	14億3761万円	-1億3015万円	-9.1	↓
	小規模水道事業	672万円	393万円	279万円	71.0	↑
	墓地公園事業	20万円	20万円	0万円	0.0	—
	介護保険事業	15億4362万円	15億3071万円	1291万円	0.8	↑
	後期高齢者医療	1億7574万円	1億6698万円	876万円	5.2	↑
	水産業振興事業	3936万円	4298万円	-362万円	-8.4	↓
	財産区特別会計	408万円	453万円	-45万円	-9.9	↓
【企業会計】水道事業	4億9000万円	4億7164万円	1836万円	3.9	↑	
【企業会計】下水道事業	13億370万円	12億3597万円	6773万円	5.5	↑	
全合計	132億6788万円	128億4755万円	4億2033万円	3.3	↑	

※予算額は、万円単位(四捨五入)で表示しています。

財産区特別会計は、5財産区管理会(北浮田、長平、浜横沢、中村、舞戸)の合計額となっています。

令和 8 年
第 1 回
定例会

会期
3月6日~12日

特別職の職員の給与に関する条例等の改正及び、議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の改正

令和 8 年 第 1 回 定例会 が 3 月 6 日 から 12 日 までの 日程 で 開催 され ました。開会初日には、条例改正案、令和 8 年度一般会計当初予算案など、議案 47 件、諮問 1 件、意見書案 1 件が上程されました。

9 日の一般質問では、議員 3 名が「海の駅わんど」リニューアル事業について、地域包括支援センターの委託について、空き家の現況と対策についてなどを町政に問いました。（質問内容は 5 ～ 7 ページに掲載しています。）

最終日には、11 日の各常任委員会、予算特別委員会で審議された議案 49 件が本会議において審議の結果、原案とおり議決されました。主な議案等は次のとおりです。

▼特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定

可決

特別職報酬等審議会の答申に基づき、町長、副町長、教育長の給料の額を改定。月 39 千～54 千円引き上げる。
令和 8 年 4 月 1 日 施行

▼議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定

可決

特別職報酬等審議会の答申に基づき、議長、副議長及び議員の報酬額を改定。月 28 千～44 千円引き上げる。引き上げは平成 30 年以來 8 年ぶり。
また、町職員等の旅費及び費用弁償に関する条例の全部改正に伴い、費用弁償として支給する旅費の支給方法等について改定。
令和 8 年 4 月 1 日 施行

ポイント!!

議員報酬が改定されました。議会改革特別委員会では、議員定数の削減を含め、町民の皆さんに納得していただける議会のあり方について、これからも話し合いを続けてまいります。



▼水道事業の債権の管理に関する条例の制定について

可決

【主な内容】公営企業の経営状況を正確に表すため、私法上の債権である水道料金（小規模水道事業含む。）の債権管理や債権放棄に関する事項を定め、債権の適正な管理を図る。

(1) 水道事業の債権（水道料金）の適正な管理
(2) 滞納されている債権の回収に努めるとともに、その状況や滞納理由などを把握し、適切な処置をとる。

(3) 台帳整理
(4) 債権放棄に関する事項を定める等
※不納欠損処分を行った場合は議会に報告

公布の日から施行
施行期日前に発生した水道事業の債権についても適用

▼人権擁護委員候補者の推薦

適任

6 月 30 日に任期満了となる人権擁護委員の候補者として推薦するにあたり、適任と判断するもの。

▽再任
菊谷尚久氏

（舞戸町）

【任期】

令和 8 年 7 月 1 日から 3 年

▼意見書の意見を国政へ

▼意見書案第 1 号
地域の医師不足解消を求める意見書

可決

無理な働き方を前提とした「医師需給推計」の見直し、医学部定員の増加及び地方の深刻な医師不足の解消を求める。

【提出先】衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣



議員 忠光 谷 菊

「海の駅わんど」リニューアル事業及びその影響について
問・本事業の概要及び実施に至った経緯について伺います。

答弁・神企画観光課長

リニューアルに至った経緯からご説明いたします。

平成14年6月のオープン以来、施設の老朽化に加え、鮮魚店2店舗の撤退による施設経営の悪化、さらには役場庁舎の移転による周辺環境の変化など、様々な課題に直面してまいりました。これらの状況を踏まえ、鱒ヶ沢町にぎわい創出プロジェクトの主要事業として開始する運びとなりました。

問・出店者に対する事前説明と協議の進捗状況に

「海の駅わんど」の営業を本年9月30日までとし、その後、店舗の移転、新店舗の募集、改修内容の決定などを令和8年度内をめどに進める計画としております。さらに、11か月の工事期間を経て、令和10年4月のオープンを目指しております。

ついて伺います。

答弁・神企画観光課長

「海の駅わんど」の指定管理期間が3月末で終了することから、町では1年前から関係者の皆様へ説明を開始してまいりました。これまでに、現在入店している店舗の皆様に対して3回、指定管理者に対して3回、合計6回の説明会を実施しております。

問・リニューアル工事期間中における営業や観光客への影響及びその対策について伺います。

答弁・神企画観光課長

「海の駅わんど」は、年間売上約2億5000万円、年間約15万人が訪れる町の重要な観光拠点であります。リニューアル工事期間中は、観光客

3月定例会では、3名の議員が一般質問しました。その内容を要約して掲載します。一般質問では町の行財政全般に関し町長の考えや、町の施政方針を問います。

「海の駅わんど」工事期間中の影響について 答へ魅力ある施設を目指すのでご理解を

への影響が少なからずあるものと認識しております。

この工事は、さらなる魅力ある「海の駅わんど」を目指して行う事業であるため、ご理解のほどよろしく願います。

問・リニューアル後の施設運用計画と長期的な維持管理の見直しについて伺います。

答弁・神企画観光課長

運用計画の基本方針として、地域の食と文化を核とした鮮魚、農産物、特産品の販売や飲食提供を通じた地域の魅力を体験できる交流拠点の形成を目指してまいります。具体的に、情報発信や休憩機能の充実、チャレインジショップなど多用途に利用できるスペースの確保、多目的広場や通信

ネットワーク等の環境整備を行い、地域住民の皆様と観光客双方が快適に過ごせる施設運営を目指してまいります。また、長期的な施設の維持管理については、持続可能な運営を実現するため、適正なテナント使用料の設定や維持管理経費の見直しを進めてまいります。

意見・「海の駅わんど」の休業による経済損失を最小限にするため、工期短縮による早期復旧。また、修繕費用を投じるよりも、長期的な資産価値や利便性を考慮すれば、新設の方が合理的であり、営業の空白期間を生まない柔軟な対応を求めます。



「海の駅わんど」のようす



議員 中久 尚久 議員
きく や 谷 菊

地域包括支援センターの委託について

問・2005年の介護保険法の改正により、地域包括支援センターが全国の市町村に創設されました。地域包括支援センターは、高齢者などが住み慣れた地域に安心して暮らせるよう、介護、医療、福祉、健康面を包括的に支える総合相談の窓口になります。

今回、創設以来町直営で運営してきた地域包括支援センターを、あえて直営から民間に委託するという判断に至った経緯と、町が期待する効果について伺います。

答弁・千島ほけん福祉課長
地域包括支援センターは、2005年の制度創設以来、町が直営で運営

地域包括支援センター運営の業務委託には公正、中立性を答へ仕様書に公正、中立性の確保を明記し点検する

してきましたが、近年の高齢化の進展に伴い、相談内容の複雑化、高度化が進む中で、専門職による継続的な支援体制の確保が重要な課題となっております。

このような中、民間委託により地域包括支援センターに必要な専門職確保の安定性、将来的な持続可能性、そして民間事業者が有する地域福祉分野での実践的ノウハウやネットワークを活用すること、町民サービスの質の維持向上につながるかと判断し、民間委託を検討したものです。

問・単純な業務の委託とは違い、業務の性質上、その仕事は年度ごとに区切るものではなく、年度をまたいで途切れることなく継続する「シームレス」なものです。また、依頼者との信頼関係の構

築も必要なものです。

このような業務を委託する場合、役場でのセンター運営と委託先でのセンター運営を一定期間平行して行い、慎重に委託先へと移行する「ソフトランディング」が必要であると考えますが、町の認識と対策について伺います。

答弁・千島ほけん福祉課長
地域包括支援センターの設置主体は、引き続き町となります。町としては、運営状況を把握し、必要に応じて指導や助言を行ってまいります。また、移行時には、サービスを受ける町民が混乱しないよう、十分に配慮した引き継ぎを行いたいと考えております。

問・センター運営には、設置基準があり、特に専門三職種（保健師または看護師、社会福祉士、主

任ケアマネージャー）が必要となっております。

民間の福祉関係事業所の人員不足は、町以上に深刻だと思えます。また、就職してもすぐに転職が頻繁に行われており、経験の浅い職員しかいない事業所も見受けられません。

万が一、将来的に委託先の事業所で人材確保ができなくなった場合の対応について伺います。

答弁・千島ほけん福祉課長
人材確保につきましては、直営でも民間委託でも、非常に難しい課題であると認識しております。まずは、来年度委託先となる事業者と十分に協議を行い、その点をしっかりと確認したうえで契約を結びたいと思っております。また、事業者とは日頃から情報交換を行い、町民に迷惑をかける

ことのないよう努めてまいります。

問・センター運営には、高い公正、中立性の確保が求められます。直営であれば確保できますが、万が一にも、このセンターで得た情報が委託先の事業所の事業運営に利用されることがあつてはならないと考えます。町の認識と対策について伺います。

答弁・千島ほけん福祉課長
センター運営の中立性については法的に定めており、町としても委託契約を締結する際には、契約書の仕様書に公正、中立性の確保を明記して、必ず遵守させる方針です。また、実際に中立性が確保されているかどうかについても点検することとしております。さらに、町が設置している地域包括支援センター運営協議会においても、運営状況や公平、中立性についてチェックをしていきたいと考えております。

議会議事録



さとう じゅん 議員
佐藤 薫

空き家の現況と対策について

問・令和7年度において、国の補助金を活用して空き家の実態調査を実施していますが、調査結果について、説明をお願いします。

また、調査結果を踏まえた今後の対策についても伺います。

答弁・神総務課長

令和7年度に国土交通省の補助金を活用して、町内全域の空き家の実態調査を実施しました。その結果、空き家の件数については、鱈ヶ沢地区143件、舞戸地区125件、赤石地区111件、鳴沢地区115件、中村地区93件、町内全体で587件となっております。そのうち、全体的に損傷

空き家実態調査後の今後の対策は 答へ。パトロールを強化し、町内会と連携を図る

が激しく倒壊のおそれがある空き家は18件、放置すれば倒壊のおそれが高まる可能性がある空き家は41件、部分的に損傷があり危険性のある空き家は83件、損傷による危険性がない空き家は148件、目立った損傷のない空き家は297件という結果です。

令和3年度に町内会を通して調査した件数595件と比べると、8件の減少という結果になっております。この結果を踏まえ、今後の対策については、引き続き空家等除却事業費助成金を活用した危険な空き家等の除却を促進してまいります。

また、空き家・土地バンク制度を活用しながら、再利用できる空き家等の利活用の推進と、所有者や管理者に対する適正管理の指導や助言について今後も継続して取り組んでまいります。

問・倒壊の恐れがある空き家が18件あると回答がありました。去年、今年と2年続いている大雪です。それらについては、特に対策の強化が必要と思えます。どのような対策を考えているのか伺います。

答弁・神総務課長

国の空き家対策総合支援事業補助金を活用し、町では空家等除却事業費助成金とし1件あたり限度額50万円の助成をしております。その中で18件を調査し、その推進に努めますが、建物の所有者、土地の状況、その家庭でいろいろな事情がありますので、倒壊の恐れがある建物についてはできる限り早急に措置をしてまいりますと思っております。

問・パトロールの強化をお願いするとともに、可能であれば、今回の調査

結果を町内会などと情報共有できるとさらに有効活用できると思えます。それらについての考えを伺います。

答弁・神総務課長

今回の調査結果によりデータベースができました。今後、データの更新には実情を把握するため、職員のパトロール及び町内会との連携が必要と思えますので、各町内会と情報交換しながら進めていきたいと思っております。

意見・2年続いている大雪でした。災害時の対応という観点、また住民の安全、安心を守るという観点からも、空き家対策の強化を強く要望いたします。

※佐藤議員は、このほかにも次のような質問をしています。

◆公民館への指定管理者制度の導入について
令和8年度から、中央公民館、舞戸公民館に対して指定管理者制度を導入することですが、導入に至った経緯、また、導入に伴うメリット等について伺います。

答経緯については、持続可能な行政運営を推進するとともに、民間活力の活用推進の観点から、指定管理者制度の導入を判断するに至ったものであります。

次にメリットについてですが、第1点目、運営の効率化とサービス向上、第2点目、地域の特性を生かした施設活用の拡大、第3点目、行政資源の重点化であります。それらにより、町は社会教育事業の充実に注力できる体制となるよう整備を図るものです。



中央公民館大ホールの様子

予算特別委員会の審議

3月11日

令和8年度一般会計当初予算案は、議員全員による予算特別委員会（菊谷忠光委員長）を設置し、詳しい審議を経て本会議で決定されました。ここでは同委員会で審議された内容を一部抜粋してお知らせします。

問「AI(あい)であう」の登録費用を補助（須藤委員）「AI(あい)であう」登録費用補助金とはどのような事業ですか。

答（神企画観光課長）青森県が運営する「あおもり出会いサポートセンター」が提供する紹介型のマッチングシステムです。AIがプロフィールや希望条件をもとに相性の良い相手をピックアップし、紹介状を配信する仕組みです。利用には本人確認や独身証明書の提出が必須となっております、安心して利用できる環境が整っています。

現在、システムの利用登録には1万円の費用がかかりますが、町内で少しでも登録者数を増やし、出会いの機会を創出するため、その半額である

5000円を町が助成します。なお、町でのこれまでの実績としては2月末時点で10名が登録し、既に1組の成婚が報告されています。県全体では約876名が利用している注目のシステムです。

意見（須藤委員）AIが客観的な条件をもとにマッチングを行うというのは大変素晴らしいシステムだと思います。安心して利用できる良い取り組みですので、ぜひ町民の皆さんにも広く周知し、活用してもらえよう町側も積極的に取り組んでください。

問「町指定ごみ袋の価



格について（佐藤薫委員）昨年9月議会で提案したごみ袋の値下げについて、深浦町との協議を踏まえ前向きに検討するとの回答がありました。その後の検討状況はどうなっていますか。

答（中井総合窓口課長）ごみ袋に収集手数料を上乘せることが、町民の皆様の分別の意識を高め、ごみを減らすための重要な動機付けになっており、西北五管内の他自治体においても、同様の手数料徴収制度を検討・導入する動きがあります。今後ごみ減量と資源の再利用を推進してまいりますので、何卒ご理解をお願いいたします。

意見（佐藤薫委員）今後、ごみの減量や資源の再利用と併せて、値下げが可能か、引き続き検討をお願いいたします。

問「鯨ヶ沢病院の運営について」（佐藤薫委員）直近の病院経営の状況についてお知らせください。

答（田村病院事務長）患

者数の減少に加え、物価・人件費の高騰が経営を圧迫しており、経常・純損益ともに赤字が続いています。流動資産・負債のバランスは確保されており、不良債務や資金不足等の事態には至っておりません。

問（佐藤薫委員）施設の老朽化と今後の方向性について

答（田村病院事務長）法定耐用年数を大幅に超えており、躯体調査でも修繕・建て替えの必要性が指摘されています。今後は人口減少や地域の医療ニーズを見極め、病床機能の転換や、規模の適正化を含めた医療機能の再編成と施設整備を検討します。

意見（佐藤薫委員）今後の方向性について、病院内部でしっかりと意見集約したうえで、町長と十分に協議を重ねてくださるよう要望します。

問「役場職員の人員体制と現状について」（東條

委員）現在の職員数と、今年度の退職・採用予定人数を伺います。また、現行体制で業務量は適正でしょうか。

答（神総務課長）新年度は事務7名、保健師2名の計9名を採用予定で、退職者は約10名の見込みです。

現体制は、正規職員126名、会計年度任用職員約50名の計約176名体制です。基本的には定数を維持し、突発的な業務は残業等で対応しています。

全国的に公務員志望者が減り、近隣同様に確保に苦慮しています。給与は県規程に基づき運用しています。

意見（東條委員）人手不足で採用も難しい状況と理解しました。職員の方々が懸命に業務に取り組む姿は承知しております。今後も工夫を凝らし、組織としてうまく体制を維持し頑張っていたいただきたいと思えます。



バルーンリリースのようす

4月17日、弘前公園本丸にて「弘前さくらまつり」の満開セレモニーが執り行われ、町議会を代表し、須藤一副議長が出席しました。
11日に開花宣言があった園内の桜は満開になり、園内を鮮やかなピンク色に染め上げていました。
式典の最後には、保育園児らによるバルーンリリースが行われ、空に舞う色とりどりの風船に、大人も子どもも歓声を上げていました。

弘前さくらまつり
満開セレモニー



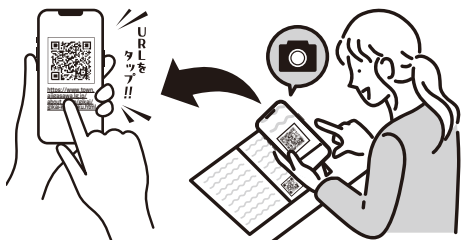
来賓紹介のようす

5月1日、種里城跡無料休憩所にて「光信公の館」オープニングセレモニーが執り行われ、町議会からは須藤一副議長をはじめ、9名の議員が出席しました。
セレモニー終了後には、光信公の館にて中田書矢総括学芸員による解説会が行われました。参加者は、今年の干支である「午(馬)」にちなんで津軽家ゆかりの名品や、津軽藩お抱え絵師が描いた絵画など、さまざまな「馬」にまつわる展示品の説明に熱心に耳を傾けていました。

光信公の館
オープニングセレモニー



携帯のカメラアプリや二次元コードを読み取るアプリを起動し、左の二次元コードを画面に写すと表示されるURLをタップすると内容を確認することができます。



二次元コードからも直接ご覧いただけます。

このまま同様の閲覧に加え、議会のホームページからも閲覧できるようになりました。
ホームページでは、令和7年分からの議会会議録を掲載しています。トップページの『会議録検索』からアクセスできますので、ぜひご利用ください。
議会会の定例会や臨時会が終わってからの約1か月後には、日本海拠点館図書コーナーで「議会会議録」をご覧いただけます。

議会会議録を
ホームページで
公開しています

第2回定例会の予定

▼6月9日(火)

開会予定です

《開会後の日程は

次のとおりです》

▽6月11日(木)

一般質問

▽6月12日(金)

総括質疑、

討論、採決、閉会

○議会のようすを知るには…

議会日程は、議会運営委員会において、正式に決定されます。

開会中は、町役場1階町民ホールのモニターに、議会のようすが流れています。議会の本会議では傍聴もできます。

(一般席20席、車椅子席2席)

開催日程、一般質問の議員氏名、質問事項については町防災無線、町ホームページ、町LINEでお知らせします。

詳しくは、議会事務局へお問い合わせください。

特集

はつらつチャレンジャー

Vol.15 温かな就労支援

「はつらつチャレンジャー」15回目の今回は、合同会社再び（ふたたび）の廣岡励さんにお話を伺いました。

聞き手は、菊谷忠光広報委員長です。

一人ひとりの働きたい思いに 寄り添って



舞戸町
合同会社再び

代表社員 ひろおか 励 さん

舞戸町出身。県内の障がい者入所施設支援員などを経て、令和3年1月に合同会社再び、同年6月から就労継続支援B型事業所REPLAYを開設。奥様と3人のお子さん、お母様と舞戸町在住。

Q 合同会社再びではどのような取り組みをしているのですか。

A 障がいや心身の不調で一般就労が難しい方に対し、働くための訓練や支援を行っています。現在は就労継続支援B型と就労定着支援を中心に、一人ひとりの「働きたい」という思いに寄り添いながら

ら支援しています。

Q 就労継続支援B型事業所として、利用者の皆さんはどのような活動をしていますか。

A 利用者の皆さんの体調や得意なことに合わせて、軽作業や地域とかかわる活動に取り組んでいます。無理のないペースで社会との

つながりを持ちながら、自立や就労に向けた力を少しずつ身に付けていけるよう支援しています。

Q 新しく始まった就労定着支援事業とは、どのような事業内容ですか。

A 就職後も安心して働き続けられるよう支える、就労後の継続的な支援です。職場になじんでいるか、生活面で困りごとはないかを定期的に確認し、利用者本人と企業の間で立って支援を行っています。

ですか。
A 働く場をつくるだけでなく、働き続けるところまで支えたいと想ったからです。就職はゴールではなく新しい生活の始まりです。環境の変化に悩む方を少しでも減らしたいとの思いで取り組んでいます。

Q 支援をする中で、利用者さんやそのご家族との関わりで大切にしていることを教えてください。

A 何より大切にしているのは信頼関係です。利用者さん本人の希望はもちろん、ご家族の不安や思いにも丁寧に耳を傾け、安心して本音を話していただけたら温かい関係づくりを心がけています。

A 地域の人の温かさや、つながりの深さが大きな魅力です。見守りや声かけは利用者さんの励みになっていきます。一方で、通いややすさの確保や、働く場の選択肢をどう増やしていくかが今後の課題だと感じています。

Q これからの目標と、町民の皆さんへのメッセージをお願いします。

A 障がいの有無にかかわらず、誰もがこの町で自然に暮らし、働ける社会を目指していきます。私たちの活動は地域の理解があっただけで成り立つものではないので、ぜひ身近な取り組みとして関心を持っていただければうれしいです。

Q 就労継続支援B型事業と就労定着支援事業の両方に取り組もうと思ったきっかけは何ですか。

Q 鯉ヶ沢町で活動する魅力や課題はどんなところにありますか。



合同会社再びさん
Instagram